

～第19回大運動会が行われました～

11月2日(土)に、第2回広州日本人学校大運動会が行われました。今年度の大運動会のテーマは『一翔懸命～友情とキズナの翼』でした。「赤」・「白」・「黄」・「青」の4色に分かれて、総合優勝と白雲賞を競い合いました。最終的には、「優勝杯」を白組が、「白雲杯」を赤組が獲得しました。どの組の子どもたちも全力で競技や演技に取り組む姿がとても印象的でした。

応援練習は、まず各色小5～中3の児童生徒代表で「応援団」が結成され、昼休みに団ごとの団員会議が行われました。その後、全児童生徒が団ごとに集まって結団式を行い応援練習が開始されました。どの団も練習を重ね、当日はすばらしい応援が披露されました。

学年練習は、10月に入って本格的に始まり、中休みや昼休みには、各学年の演技・種目を成功させようと自主練習を行うなど、児童生徒が熱心に大運動会に取り組む姿がみられました。どの学年も工夫をこらし、それぞれの子どもの良さが伝わるような演技や競技が行われました。

係りの仕事では、招集係・救護係・得点係・放送係・準備係・審判係など、小学部高学年から中学部3学年までの児童生徒が協力して、自分たちの仕事できちんと役割を果たそうとする姿が見られました。このような姿は毎年、先輩から後輩へと引き継がれていきます。この大運動会で、どの子ども達成感と充実感を味わえたことと思います。大運動会を終えた今、子どもたちは成長したことを学校生活に生かそうと、毎日前向きに過ごしています。

